

# 札幌ボデー工業株式会社



## 会社概要

所在地	北海道札幌市西区発寒 15条13丁目4-60	代表者	代表取締役社長 堀田 和宏 氏
設立	1979年 設立	資本金	3,500万円
従業員数	103名(アルバイト含む)	業種	製造業
事業概要	高規格救急車、災害支援車、移動販売車他、 特殊車両のオーダーメイドでの設計、製作、販売等		

## 取り組みテーマ・取り組み前(きっかけ)

# 若手人材の定着と育成

従業員の定着は、新卒よりも中途採用の方が低く、入社後3年以内の若手社員の離職が発生していました。半導体不足等で仕事が減少した際は、「もっと仕事をしたい」という気持ちから、将来を不安視する傾向がありました。

育成においては、高い専門性を持つ熟練工から若手従業員へスムーズな技術継承が必要となるため、年齢層の適正化が必要となります。また従業員の年齢上昇、熟練工の定年退職により技術承継に不安があることから、若手人材の定着と育成が課題でした。

## 取り組み内容

**【ものづくりは人づくり】** 製品の品質を高め続け、人々の安心・安全に役立つ製品を世に送り出すためには、それを作る「人」への投資が欠かせないとの考えから「人づくり」改革を決断。教育研修や評価制度などの人事制度改革への取り組みを開始。

**【賃金体験の改革】** 年功序列を廃止し、能力給に一本化。評価制度の導入など、若手活躍に向けた改革を推進。

**【働き方改革】** ひとつづくり改革の一環で働き方改革を推進。残業削減に取り組んだ。

**【多能工の育成】** セクションを越えてフォローアップできる人員の育成・体制づくり。

**【公的補助を活用】** 優良エキスパート派遣事業で講師派遣を受け定期研修を開催、新しい技術の導入。

**【技術継承への不安からマニュアルを作成】** 道内大学と連携し、マニュアルを制作。OJT中心の技術の伝承では伝えきれない部分も映像と解説で伝え、勤と経験による技術からの脱却を目指す。

**【研修の実施】** 将来の管理職育成を見据え、係長クラスにはマネジメントスキルの研修を実施。



## 成果(効果)

**【残業時間削減】** 業務効率化が進み、一ヶ月の平均残業時間が60H→15Hに削減。自分の時間が増えたという声と同時に、手取り給が減ったことへの不満も聞かれました。

**【属人的業務からの脱却】** 一部職種では新システムを導入し属人的業務から脱却。他セクションのサポートが相互に可能となりました。

**【在宅ワークに関する社内規定を整備】** 一部職種ではリモート勤務が可能となり、コロナ禍にも不安なく在宅勤務することができました。

**【社内環境の整備推進】** 福利厚生の一環として、社内の分煙、社員食堂を全面改装しカフェテリア風の社員食堂をつくり、コミュニティスペースとしても活用しています。

## 今後の展望

社内改革に対する不安や反発に対しては、経営側と従業員のコミュニケーションの機会を増やし、社内改革に対する方向性の一致と相互理解のため根気強く対話を継続していくことが必要と考えます。また改革のアウトラインは変更せず、中身を現状に即したものにブラッシュアップすることが今後の課題となります。